

子籠 敏人  
議員

## 小中一貫校導入の考えは

増戸小学校・増戸中学校を先進校として取り組む

**問** 小中一貫校について 近年、小学校から中学校への進学に伴い、その文化の違いから不登校や学習意欲の低下などが生じる「中1ギャップ」の解消策として、小中学校の一貫校化を進める自治体が増えている。小中一貫校のメリットとしては「上級学校への不適応

の解消」をはじめ、「専門性の高い専科制の導入」や「部活動への人的配置」など、多くの効果が指摘されている。

そこで幾つか伺う。  
① 市は小中一貫校をどのように考えているのか。  
② 今後、小中一貫校を導入していく考えはあるのか。  
③ 教育長の考えは。

### 指導担当参事

① 教育委員会では「小中一貫校への取り組み」を重点施策に位置づけ、現在、小中一貫校へ向け基礎的な

研究をしている。

② 学区が同一で施設も同一の敷地内にある増戸小学校・増戸中学校を、小中一貫校教育の先進校と位置づけ、様々な取り組みを行う。

### 教育長

③ 一貫校では「4年生までは学級担任制で5年生からは教科担任制へ」また、「増戸小学校と増戸中学校の2階をつなげ、そこに職員室を作つたらどうか」など、一体化することで教育の連続性や適時性の問題に応えられる。



小中一貫校化が予定されている増戸小学校(左)と増戸中学校(右)

戸沢

弘征  
議員

## 秋川ファーマーズセンターの大規模改造を

話し合いの場を設けていきたい



「安全・安心の食の宝庫」ファーマーズセンター

**問** 秋川ファーマーズセンターの大規模改造を 農作物を中心とした販路拠点のファーマーズセンターは、当時、多摩制定百年を記念し、東京都から五億円の補助を受け、秋川市らしさの事業として建設され

た。

現在、販売所は大盛況で、多くの市民が新鮮な地元野菜を買い求めている。しかし施設が狭く老朽化しており、バーベキューハウスも含め耐震調査を行い、大規模改修を進めるべきであ

る。また、盆栽売り場は五日市街道に面した所に移すことも必要である。  
道の駅プランも立ち消えとなっており、地産地消の新鮮で安全安心の食の拠点とするため大改修を求め、市の見解を伺う。

### 環境経済部長

平成5年8月のオープン以来、新鮮で安全な農畜産物を市民等に提供し、年々売上げも増えてきた。また、14年度に、売り場の拡大と苗木販売用の建物を新築し、17年度には、来客用駐車場の舗装工事を実施した。

本体の建物は、オープン後16年が経過し施設等の老朽化が進んでいるが、早急な大規模改修の実施は、現在の財政状況から困難であると考えている。

今後、農業者や秋川農業協同組合などと施設や設備等について話し合いの場を設けていきたいと考えている。

田中 千代子  
議員

## 子育てひろば事業充実の考えは 五日市地区の保育園も実施していきたい

**問** 子育て支援のさらなる充実について  
次世代育成支援行動計画に基づき、子育てひろば事業が進められている。地域によっては公園も少なく「日常的に、小さい子どもの遊び場を兼ねた保護者の談話、交流の場所、気軽に子育て相談等ができる場所がほしい」との声が寄せられている。



あすなる保育園の子育てひろば事業

市としては、子育てひろば事業の充実について、どのように考えているか伺う。  
**子育て支援・児童担当参事**  
子育てひろば事業は、現在、あすなる保育園と西秋留保育園の2箇所で開催しているが、今後は五日市地区の保育園についても事情が許せば実施していきたい。  
また、市の次世代育成支援行動計画は、平成21年度

で前期計画から5年が経過し、22年度から5年間の後期計画を策定する時期を迎えている。市では市民検討委員会等を立ち上げ、策定作業を進めているが、幼児から就学期までの相談ができる「福生市子ども応援館」のような施設も大変重要であり、後期計画にのせることができると考えている。  
**他に、放課後子ども教室について質問した。**

合川 哲夫  
議員

## 環境対策での森林再生や取り組みは 多摩の森林再生事業に取り組んでいる



整備された市内の森林

### 環境経済部長

① 環境基本計画の中で森林の適正な保育、間伐によりCO<sub>2</sub>の吸収能力を高めていくとある。また、本市では「多摩の森林再生事業」に取り組んでおり、この事業を進めることでCO<sub>2</sub>の吸収量を高めていく。更に森林経済活性化に取り組むことで、山の手入れも行き届き地球温暖化防止に貢献できると考える。

② 国は、温室効果ガス削減対策の一つとして普及を掲げ、東京都でも補助事業を実施している。本市では、産業祭に「エココーナー」を設け新エネルギーの普及に取り組む。また、市独自で補助金を出している自治体は東京都で13市ある。本市では予算も鑑み可能であるか検討していく。

**他に、武蔵増戸駅周辺道路整備及び駅改善について質問した。**

**問** 地球温暖化防止対策への取組みは

温室効果ガスの影響により地球規模で温暖化が進み、気候変動による農作物生産の影響や、平成20年8月の集中豪雨による影響で本市でも、崖崩れが発生し地域住民に生活の不便をきたした。

そこで以下について伺う。

① 本市の環境基本計画では、市内の森林のCO<sub>2</sub>吸収量が12万トンあるとされているが、環境対策での森林再生や、その取り組みについては。

② 新エネルギー、特に国でも力を入れている住宅用太陽光発電パネル設置普及の取り組みについては。



野村 正夫  
議員

市の借金は全部でいくらか  
654億792万5千円の借金がある



企業誘致計画がされていたあきる野インター付近

**問** あきる野市の財政について

① 現在、市民が負担する市の借金は全部でいくらか。

② 災害等非常時に使う財政調整基金の残高と、市民が安心して暮らせる積立金はいくらが理想か。

③ 新たな歳入の見通しはあるか。

④ 合併特例の借金は約1

48億円だが、交付税算入分を差し引いて返すのではなく全額返すのか。

⑤ 来年度の財源不足は今年同様、約6億5千万円になると思うが市の考えは。

⑥ 市長は合併後の市政を見て、身の丈に合った行政運営をしてきたと思うか。

また、あきる野インター周辺の企業誘致ができたか

⑥ 合併後の特殊事情での財政運営だったので通常とは違う。この特殊事情から健全な収支バランスにするための行財政改革を行っている。

**市長**

④ 合併特例の借金は全部返すことになる。

⑤ 国の財政支援の方向や市税収入の見通しを精査中で国や東京都の動向を見極め行財政運営を推進したい。

③ 企業誘致を進める制度整備などで可能性を検討する。

② 積立金残高は1億7844万4千円で、理想的な額は東京都26市の基金残高の平均割合を本市に当てはめた場合の13億7千万円が目安と考えている。

**企画政策部長**

① 一般会計や特別会計等全部で654億792万5千円になる。

ったことで、年間1億円以上の税収を逃したことに指摘した。

町田 匡志  
議員

都施工ではなく市の一括受託方式の採用は  
委託の申し出があれば受託する

**問** 都道主地7号線の歩道の拡幅について

この件については過去何度か質問してきた。その後、市長が東京都議会議員の時に市民から請願が提出され、趣旨採択されたと聞いている。そこで、今までの経過と今後の見通しについて以下伺う。

① この趣旨採択をどのよ



幅の狭い都道主地7号線の歩道

うにとらえるか。

② 調査費を計上することのことだが調査費といえども税金である。今後、建設を促進すると理解して良いか。

③ 建設に当たっては東京都施工でなく、市の一括受託方式は採用できないのか。

**都市整備部長**

① 平成18年の東京都議会での趣旨採択が、今回の事業の着手に至った大きな要因の一つと考えている。

② 平成21年度に東京都が測量、調査委託に着手することで、今後事業が進んでいくものと考えている。本市としても事業の推進を更にお願ひしていく。

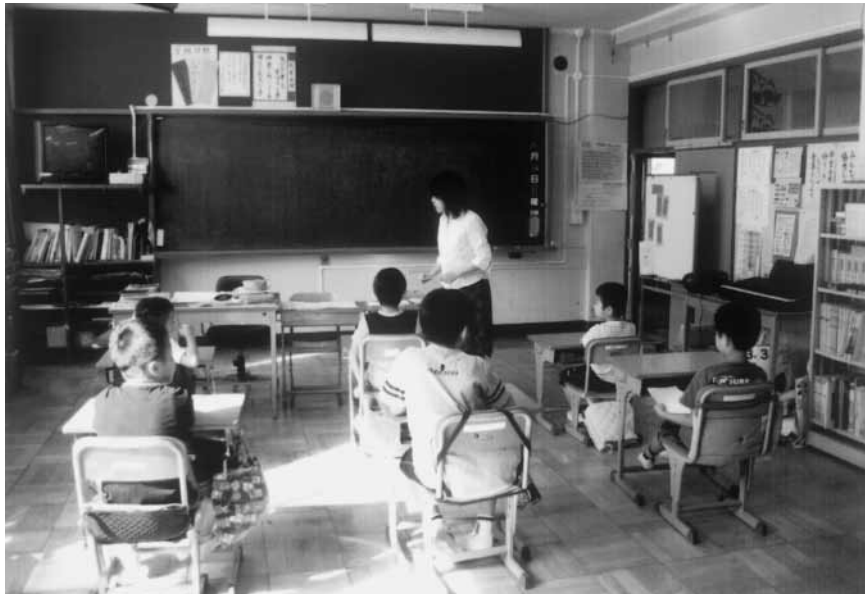
③ 歩道整備を早期に進めるために、一つの手法として東京都から事業委託の申し出があれば、当然受託し、東京都と本市が連携して事業の推進を図っていく。

**奥秋 利郎**  
議員

**小規模校統合の今後の取り組みは  
子どもの教育環境の視点に立ち対応を図る**

**問** 小規模校の統合に関し、秋川市・五日市町の合併前より十数回に渡り一般質問で取り上げてきた。  
一学級の児童数が少なく、集団が成立し得ないような戸倉小学校と小宮小学校で

は、ひとり一人の児童に目が行き届くなど、大きな成果が期待できるが、逆に児童に目が行き届きすぎるという弊害や、共同生活の中で切磋琢磨しながら成長していくという、学校教育に



2, 3年生の複式学級

期待されるべき教育効果が上げられないとも考えられる。  
通学区域を弾力化したら両校の児童数が増大する見込みが、結果は減少したとの事。小規模校統合に関し、今までの経緯と今後の取り組みを伺う。

**教育部長**

小宮小学校及び戸倉小学校の小規模学校への対応については、平成14年3月に報告された「あきる野市小規模学校対策検討委員会」の提言をもとに、学区の弾力化や児童クラブの開設、教育効果の維持等の小規模校対策に取り組むとともに、20年度から小宮小学校、戸倉小学校、五日市小学校、五日市中学校の学校間での授業や、クラブ活動の交流学習を進めている。  
今後も、小規模学校対策を進めながら、子供の教育環境はいかにあるべきかの視点に立ち、適切な対応を図っていききたいと考えている。

**集中豪雨に備えた開発現場の指導は**

**都と連携し排水処理方法など指導**

**浦野 眞司**  
議員

**問** 集中豪雨の対応について

① 市内には宅地造成を目的とした開発が多く行われているが、集中豪雨の発生に備えて開発現場の指導はどの様に行われているのか。  
② 東京都自然公園の一部である草花丘陵部の造成工事は、どの様な目的と経緯で進められたのか。また、



開発が途中で終わった造成地 今でも危険が

市や東京都はどの様に指導を行っているのか。

**都市整備部長**

① 東京都と連携し、工事中の排水処理など防災対策について、付近住民に影響を及ぼさない措置を講ずるよう指導している。  
**環境経済部長**

② 12区画の開発許可を受け、工事と検査が完了した後、無断で隣接区域に家

庭菜園用の畑となる区域を造成したものである。本市は土砂崩れの防止や雨水対策など、防災対策の指導をした。併わせて、土砂等による土地の埋め立て等の規制に関する条例により、厳格な対応をしていく。周辺自治体とも残土連絡会を作り、東京都に対し、開発や残土への対応の条例制定を要望している。



# 傍聴へ 行こう！

あきる野市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。  
お気軽にどうぞ！

## 受付場所

傍聴の受付は、あきる野市役所本庁舎6階にある議会事務局で行っております。傍聴を希望される方は、会議当日に、議会事務局へお越しください。  
※事前のご予約をいただく必要はありません。



## 手続き

受付にて、傍聴受付票に住所・氏名を記入いただくと、傍聴券をお渡しします。傍聴券をお受け取りになり、傍聴席へお入りください。



## 傍聴席

本会議場の傍聴席は一般39席・車イス2席・記者5席。また、第1委員会室の傍聴席は一般7席・記者3席を設けております。

※傍聴席には限りがありますので、先着順とさせていただきます。

※傍聴席に空きがない場合は、次のようになります。

本会議は、議会図書室及び本庁舎1階ロビーのテレビで議会中継をご覧いただけます。委員会は、議会図書室で音声のみお聞きいただけます。

※審議や他の傍聴者の妨げにならない範囲で、会議開始後の入場や途中退席をすることもできます。

